

学校司書のおすすめ本

中学校版 No.3

松阪図書館 学校読書室支援センター発行

📖『七月に流れる花』

恩田陸 // 作 講談社 (913 才)

六月に転校してきたばかりのミチルは、終業式の日、鏡の中に「みどりおとこ」の影を見つけ、思わず逃げ出した。しかし手元には、呼ばれた子どもは必ず行かなければならない、夏流城^{かなしろ}での林間学校への招待状が残されていた。仕方なく五人の少女と古城での共同生活を開始するのだが、城には三つの不思議なルールがあり――。

この夏の物語を少年側の視点で描いた『八月は冷たい城』も続けて読むと更に楽しめますよ。 (よしあら)

📖『WALL・E ウォーリー』

アイリーン トリンブル // 作 偕成社 (933 ウ)

主人公のロボット=ウォーリーともう一人のロボット=イブを中心に描かれた物語。二人の関係だけでなく、環境問題やAI問題にも焦点をあてたメッセージ性が強いストーリーです。地球の未来を考えさせられる内容になっています。 (しむら)

📖『モモ 時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にとりかえてくれた女の子のふしぎな物語』

ミヒヤエル エンデ // 著 岩波書店 (943 エ)

都会のはずれの円形劇場に住む女の子、モモ。ここにはたくさんの人たちが話をしにきて、モモはそれを聞いてくれます。そしてモモに話すといろんなことがうまくいきます。ところがある日、この町に灰色の男たちがやってきました。時間とは自分にとってなんだろうと考えてみてください。 (つぼうち)

📖『ぼくにだけ見えるジェシカ』

アドリュー リス // 作 徳間書店 (933 ノ)

クラスで孤立しているフランシス。ある日ジェシカという不思議な女の子が現れて、2人は友だちになります。実はジェシカはフランシスにしか見えない幽霊でした。そして自分たちの居場所を見つける旅が始まります。 (やまぐち)

本といっしょに
不思議な世界を旅しよう♪

